

菖蒲の庭から

自分の良さを見つけ、仲間と共に学び合う子どもの育成

「笑顔・あいさつ・思いやり」「勇気・挑戦・積み重ね」

小田原市立東富水小学校
学校だより R7 7月
第4号



もうすぐ、前期の前半が終わり、夏休みに入ります。梅雨の季節ではありましたが、今年も厳しい暑さが続くなど激しい天候の変化に暑さ指数計を何度も何度も見ながらの教育活動でした。

7月までの東富水小の子どもたちの様子を振り返ると、がんばりや温かい心を感じ、姿がたくさん見られ、それぞれの成長をうれしく、頼もしく思います。

1年生に朝の支度を教えたり、掃除場所に手をつないで一緒に向かったりする6年生。校外学習でのキャンプファイヤーやカレー作りに仲間と協力して最後まで取り組んだ5年生。総合的な学習の時間に自分の考えをはっきり伝え、友だちの意見をしっかり受け止める4年生。初めて学ぶ書写の毛筆やリコーダー、外国語活動の学習に集中して取り組む3年生。学区の探検に安全に気をつけながら並んで出かけ、学んできたことをまとめあげる2年生。毎日あさがおに水をあげ、花が咲いたことを自分のはもちろん、友だちの分も喜ぶ1年生。どの学年もどの場面も楽しそうで満足そうな子どもたちの顔や言葉が輝いていました。

ここまで教育活動を行うことができたのも保護者の皆様のご理解、ご協力、地域の皆様のあたたかい見守りがあったからこそだと思います。本当にありがとうございました。

さて、いよいよ夏休みに入り、家庭・地域での学びや生活の時間となります。どうぞ、引き続き地域での見守りをよろしくお願いいたします。9月にまた子どもたちが元気に笑顔で登校してきてくれることを願っています。



本との出会いを！ 本をとおしての出会いを！



6月16(月)～6月28日(土)は読書週間でした。この活動のねらいは、子どもたちの読書への意欲を高めること、図書室の利用状況をつかみ図書館教育を推進すること、図書委員会など児童の発想を生かし活躍の場とすること、図書ボランティアさんと協力し、読書に親しめるようにすることです。

児童による「しょうかいカード」を使った本の紹介や教職員のおすすめ本の紹介、図書委員の児童による読み聞かせや図書ボランティアさんによる読み聞かせなどを行い、子どもたちは、さまざまな新しい本と出会い、その本の世界を楽しんでいました。

また、本をとおして、図書委員会の児童と低・中学年の児童とが交流したり、その他にも図書ボランティアさん、



学校司書、担任や他の教職員と出会い、つながりをもったりすることもできました。

この期間に図書室を訪れて本を借りた人数は、のべ 708 人。これ以外にも学級文庫で本を借りることや家庭から本を持ってきて読むことも日常の様子です。図書室では、読み聞かせをしてもらった本を探しに来たり、学校司書に質問をしたりする姿も見かけました。

子どもにとって読書は「言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」(神奈川県子ども読書活動推進計画より)とされています。

ぜひ、夏休みも本との出会いを、そして、本をとおした人やものごととの出会いを、心のつながりを楽しんでほしいと思います。

支えられています！ スクールボランティアさん

4月からこれまで、さまざまな場面で子どもたちの安全や学びをサポートしてくださった皆様、本当にありがとうございました。夏休み中も地域での子どもたちの見守り、サポートをよろしくお願いいたします。



計算ボランティア

朝の計算タイムに丸つけをしてくださっています。交わされるあいさつや会話も学びのひとつです。



学習ボランティア

水泳の見守り、家庭科の調理やクラブ活動の安全見守りや補助など、子どもたちの学習が安全に、かつより豊かに実施できるようにサポートしてくださっています。これからも様々な活動が予定されています。



生け花ボランティア

校内の昇降口などに花を活けてくださっています。子どもたちは「この花なんていうんだろう？ きれい〜！」などと季節を感じています。



防犯パトロール

決まった日に通学路の危険箇所立って、子どもたちの下校を見守ってください。顔なじみになってあいさつを交わす姿もみられ、地域の力を感ずます。